

## 選ばれるまちづくりをめざして もっと住みたいと思うまちへ

市では、もっと住みたいと思えるような快適で魅力あるまちづくりの推進に取り組んでおり、JR中央線高架下利用、武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業、そして市内にある街路灯のLED化を進めています。今号では、これらの事業の概要および進捗状況等をお知らせします。

### 進めています JR中央線高架下利用

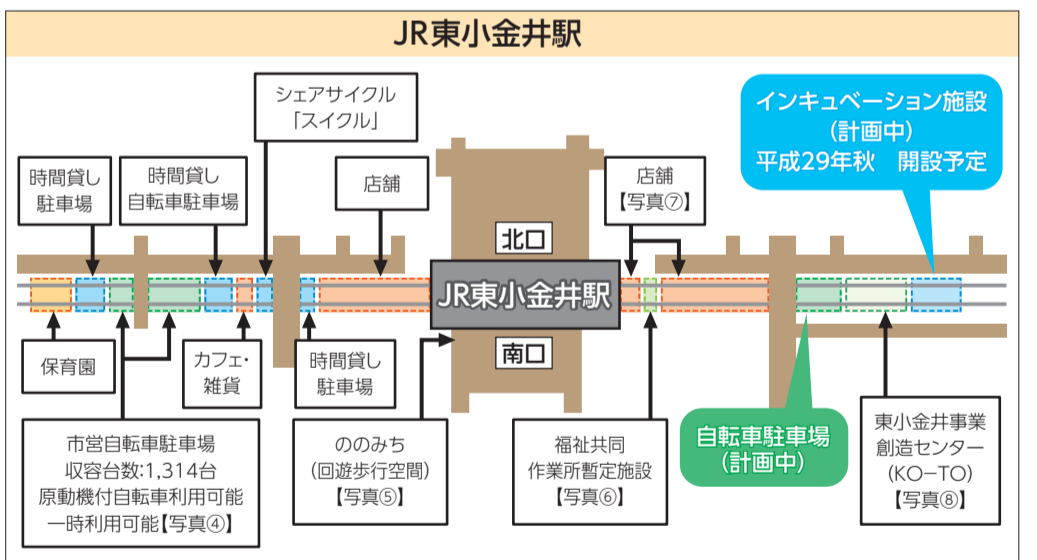
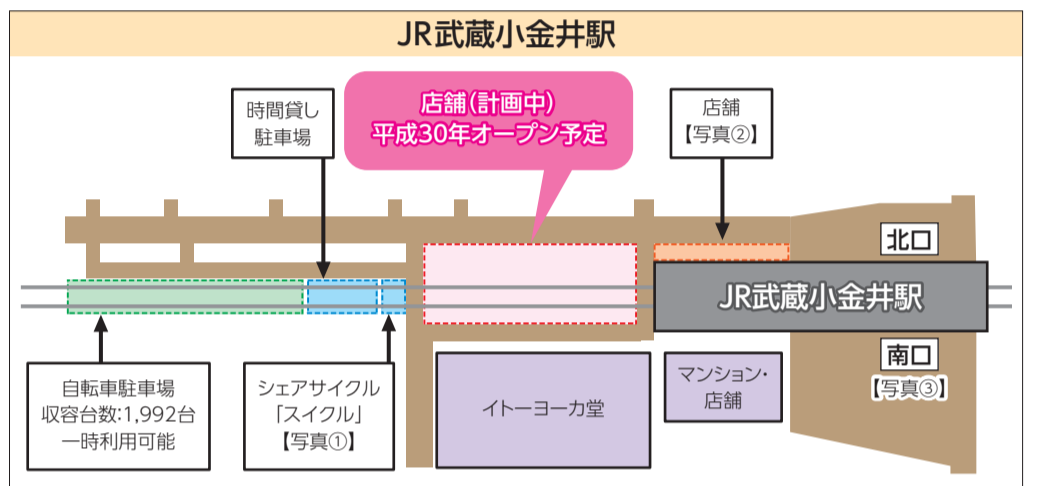
平成25年度にJR中央本線連続立体交差事業が完了しました。鉄道が高架化されたことにより、高架下に新たな空間が生まれました。この空間の取り扱いについては、市と東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR東日本」)との協議により、一部を市が利用できるようになっています。

市はこの空間利用に向けて平成18年度に市民アンケートを実施し、その結果を踏まえ庁内で検討した結果、自転車駐車場や現在の東小金井事業創造センター(KO-TO)であるベンチャー・SOHO事務所(※1、※2)等の各種公共施設を設置することとし、利用を開始しています。

また、JR東日本においても、店舗や保育園、カフェ、シェアサイクル「スイクル」等に順次利用を開始しています。各施設沿いには回遊歩行空間(ののみち)が整備され、高架下を東西に自由に行き来できるようになっています。現在、JR武蔵小金井駅西側で店舗、JR東小金井駅東側でインキュベーション施設(※3)の計画が進められており、その他の未利用空間でも有効な活用方法が検討されています。

- ※1 ベンチャーとは?  
専門的技術や知識を持ち、大企業が手掛けている事業や技術開発・情報処理等を行う革新的な企業のこと
- ※2 SOHOとは?  
スモールオフィス、ホームオフィス(Small Office / Home Office)の略

- コンピュータやインターネット等を活用して、小さな事務所や家庭で仕事をする勤務・事業形態のこと
- ※3 インキュベーション施設とは?  
起業家の育成や新しいビジネスを支援する創業支援施設



### にぎわいのある 歩いて楽しいまちづくり

駅周辺は多くの市民が利用し、最も人が集う「まちの顔」です。そのため、単ににぎわいを誘導するだけではなく、人々の交流や利便性、防災、環境、バリアフリー等さまざまな観点で小金井らしい取り組みが重要になります。

市の南北交通の妨げになっていたJR中央線が平成21年度に高架化され、ようやくまちが一体になりました。現在、駅周辺部から高架下の利活用も進み、今後、駅間の利用も行われ、さらなるにぎわいを期待しています。

JR武蔵小金井駅南口周辺では再開発が進んでおり、第1地区再開発事業は平成23年度末に完成し、現在のにぎわいが生み出されました。現在は、その南側の第2地区再開発事業が進んでいます。北口においても、地元関係者らによって再開発準備組合が設立され、新しいまちづくりの検討がスタートしております。そして、JR東小金井駅北口で平成12年から進めてきた土地区画整理事業の進捗率は70%くらいにまで進み、約6倍の広さとなる駅前ロータリーの原型が完成しました。

私は、東京でオリンピック・パラリンピックが開催される2020年以降の小金井市の姿を思い描いています。この年にはまちのようすは大きく進化していると思います。小金井市の魅力とみんなの笑顔があふれるまちづくりを皆さまとともに進めてまいりますので、期待してください。

小金井市長 西岡真一郎